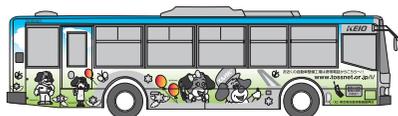


てんけんくんバスができるまで

本会広報活動の一環として、本年6月から16年5月までの1年間にわたり、「てんけんくんバス」3台が都内を走行しています。



てんけんくんバスのデザインは側面にてんけんくんファミリー、後面にはGOODマークステッカーを配し、携帯電話版のホームページアドレスを掲載して、「あなたの街のくるまやさん」から、東整振全会員整備工場を紹介し、会員事業場への自動車ユーザー誘導化をねらった広告を目的としています。今回は「てんけんくんバスができるまで」を当会ホームページに掲載し、更なるユーザーへの広報に努めました。

自整業の皆様も、意外と目にする機会の少ないラッピングバスの制作過程です。



▲てんけんくんラッピングバスになる京王バスの車両です。



▲バス1台を3人の職人が約半日かけて作業を行います。



▲まずは下準備から。きっちり洗車をして、ラッピングステッカーがはがれないように油膜や汚れを落とします。



▲ラッピングステッカーのサイズは大きいもので140cm×120cm位。貼る箇所によってサイズは違います。専用の厚いフィルムで、貼り直しもできるものだそうです。バス1台ラッピングするのに、このステッカーを25～6枚使います。



▲また、貼りやすいように取っ手やバックライトのプラスチック部分等の付属部品を取り外します。



◀指示書を見ながらステッカーを貼る位置をガムテープ等で仮止めしていきます。



◀次は細かい作業です。定規とカッターを使ってバスの形にフィットさせるように、ていねいに切り離していきます。



◀ステッカーの裏紙を剥がしながら、空気やゴミが入らないように注意し、専用のゴムへらを使っていねいにバスに貼っていきます。職人が一番緊張する作業です。



◀ナンバープレートの箇所もこのように上手にくり抜かれます。



◀凹凸や、ナンバープレート、灯火類の箇所はこの段階では関係なく貼ります。また、バスの形に合うようにカッターで大雑把に形を整えます。(タイヤ部分など)



◀縁を控え、屋根の窓枠を貼ります。(大きなステッカーから貼るので、割と小さな窓枠ステッカーは後から貼るようになります)



◀また、絵がずれないように注意して貼っていきます。大変な作業です。ステッカーには予備がありませんから、失敗は許されません。



◀最後にバス会社の社名や乗り口、降り口の表示ステッカーを貼って、できあがりです。



▲完成したてんけんくんバスです。



<取材協力>東京都交通局/京王バス株式会社/相鉄エージェンシー